

令和3年度 第1回 苫小牧市防犯のまちづくり懇話会 質問・意見・要望事項について

1 高齢者の安全対策について

今年度も、昨年度同様新型コロナウイルス感染症状況下での取り組みとなると思われ、集会など多くの人を集める啓発活動の実施は、なかなか難しいのではないかと思います。

そのような中で、高齢者が外出を自粛し、孤立している事に付け込まれ、詐欺などの被害にあわないように、情報を伝えること、相談しやすい場所を用意する（あるいは周知する）ことの必要性が以前より増すと思いますが、いかがでしょうか。

回 答

委員御指摘のとおり、新型コロナウイルス感染症拡大防止による大規模イベントなどでの啓発活動が困難な状況下での、情報の発信、啓発等の活動を展開する必要性は今後さらに増していくものと考えております。

こうした中、昨年度につきましては、高齢者の安全対策の一つとして、年金支給日に金融機関前で苫小牧警察署など関係団体と合同で街頭啓発を行い、また今年度は、お盆時期に合わせて苫小牧警察署と合同で、第一・第二霊園内で、車上狙い、特殊詐欺防止の啓発活動を行ったところでございます。

このような活動をはじめ、防犯だよりの発行、ホームページや回覧板等を利用して詐欺の手口や家族や警察に相談することなどの情報発信を今後も継続して、地域住民への防犯啓発を行うなど、関係機関、関係団体との連携を強化して取り組んでまいりたいと考えております。

2 行政の防犯相談窓口について

大きな通りの中央分離に設置されている街路灯が間引きで点いており、道幅も広いため非常に暗く、犯罪企画者が犯行機会を感じやすい雰囲気になっています。

街の危険を感じて、このことについて相談をしたい時に、道道、市道かにより相談できる窓口が異なります。一般市民は、道道か市道かを認識しておらず、防犯上の相談ができる一本化した窓口があるといいと思います。

また、#9110という警察の相談ダイヤルがありますが、具体的なことから漠然としたことまで防犯に関することを相談できる行政の窓口を電話やLINEで設け、犯罪被害未然防止につなげていただきたいと思います。また、子どもたちも使えるようにし、未然に被害を防ぎましょう。

回 答

委員の御意見のとおり、道路管理者によって窓口は異なっておりますことから、道道、市道か御不明な場合は、市役所市民生活課防犯交通安全担当（電話32-6287）に御相談ください。事案に対応する所管の関係機関にお伝えいたします。

また、防犯相談窓口の御提案でございますが、現在、お電話や市のホームページからメールでの御相談があった場合は、苫小牧警察署にお繋ぎするなど案件に沿った対応を行っております。

御提案にございました専用電話やLINEを開設することは、体制等課題を整理する必要がありますことから難しいものと考えておりますが、市に御相談があった場合は、今後も親身な対応に努めてまいりたいと考えておりますので、御理解願います。